B-11 精神科選択プログラム

1 概要

(1) 精神科選択プログラムは、選択科目として精神科を選択するプログラムである。
(2) 鳥取医療センター、渡辺病院あるいは幡病院から選択が可能である。
(3) 選択期間中には指導医と相談の上、研修医一人ひとりが自分のキャリア育成に合致したSBOsを設定することができる。一方で、選択科研修中においても、中央病院プログラムが2年間で必要と定めた中央病院一般目標GIOならびに行動目標SBOs（PG-EPOC）の達成度を上げる必要がある。

指導責任者：
鳥取医療センター　　長田　泉美
渡辺病院　　山下　陽三
幡病院　　幡　雄一郎

2 目標

(1) 一般目標（精神科選択研修GIO）

精神症状を有する患者に正しく対応し、必要な場合に精神科依頼が行えるようになるために、精神科での選択研修を通じて、プライマリケアの臨床に必要な基本的診療能力（態度、技能、知識）を修得する。

(2) 行動目標（精神科選択研修SBOs）

ア 個人が決めるSBOs
イ 診療科が薦めるSBOs
ウ PG-EPOCで定める目標

PG-EPOC で定める目標

1 精神科で必ず修得しなければならないPG-EPOC 項目（マトリックス表で◎）
Ⅱ 実務研修の方略
⑧精神科分野（4週以上）
　精神科専門外来
　精神科リエゾンチーム
　急性期入院患者の診療

経験すべき症候（29症候）
6 もの忘れ

25 興奮・せん妄
26 抑うつ

経験すべき疾病・病態（26疾病・病態）
24 うつ病
25 統合失調症
26 依存症（ニコチン・アルコール・薬物・病的賭博）

その他（経験すべき診察法・検査・手技等）
⑥地域包括ケア・社会的視点
もの忘れ
抑うつ
うつ病
統合失調症
依存症

2 精神科で修得するのが望ましいPG-EPOC 項目（マトリックス表で○）
Ⅰ 到達目標
A 医師としての基本的価値観（プロフェッショナリズム）
A-1 社会的使命と公衆衛生への寄与
A-2 利他的な態度
A-3 人間性の尊重
A-4 自らを高める姿勢

B 資質・能力
B-1 医学・医療における倫理性
B-2 医学知識と問題対応能力
B-3 診療技能と患者ケア
B-4 コミュニケーション能力
B-5 チーム医療の実践
B-6 医療の質と安全管理
B-7 社会における医療の実践
B-8 科学的探究
B-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢

C 基本的診療業務
C-2 病棟診療
C-2-1 入院診療計画の作成
C-2-2 一般的・全身的な診療とケア
C-2-3 地域医療に配慮した退院調整

Ⅱ 実務研修の方略
⑬1)全研修期間　必須項目
⑬1)－ⅰ 感染対策（院内感染や性感染症等）
⑬1)－ⅱ 予防医療（予防接種を含む）
⑬1)－ⅳ 社会復帰支援
⑬1)－ⅴ 緩和ケア
⑬1)－ⅵ アドバンス・ケア・プランニング（ACP）
⑬1)－ⅶ 臨床病理検討会（CPC）

経験すべき症候（29症候）
2 体重減少
14 呼吸困難

経験すべき疾病・病態（26疾病・病態）
1 脳血管障害
2 認知症
22 糖尿病

②病歴要約
　退院時要約
　診療情報提供書
　患者申し送りサマリー
　転科サマリー
　週間サマリー

その他（経験すべき診察法・検査・手技等）
①医療面接
　緊急処置が必要な状態かどうかの判断
　診断のための情報収集
　人間関係の樹立

患者への情報伝達や健康行動の説明
コミュニケーションのあり方
患者への傾聴
家族を含む心理社会的側面
プライバシー配慮
病歴聴取と診療録記載

②身体診察（病歴情報に基づく）
診察手技（視診、触診、打診、聴診等）を用いた全身と局所の診察
倫理面の配慮

③臨床推論（病歴情報と身体所見に基づく）
検査や治療を決定
インフォームドコンセントを受ける手順
Killer diseaseを確実に診断

⑥地域包括ケア・社会的視点
脳血管障害
認知症
糖尿病

⑦診療録
日々の診療録（退院時要約を含む）
入院患者の退院時要約（考察を記載）
各種診断書（死亡診断書を含む）

3 方略（LS）

(1) 場所は鳥取医療センター、渡辺病院あるいは幡病院（外来、病棟）
(2) 研修期間は１ヶ月
(3) 同時研修は各研修施設と協議のうえ決定する
(4) 指導医は事前に決定し、プログラム責任者を通じて知らせる
(5) オリエンテーション（初日）
(6) OJT（On the Job Training）が主体
(7) クルズス（講義）は週間予定表を参照

週間予定例

	午前	午後	その他
月	外来診療	病棟診療、集団精神療法	
火	外来診療	病棟診療、症例検討会 精神科リハビリテーション 【夜間】終夜ポリグラフ	
水	外来診療 アウトリーチ型医療	病棟診療、脳波判読会 断酒会見学、心理教育	
木	外来診療、睡眠医療	病棟診察、症例検討会	
金	外来診療	病棟業務、ＭＲＩ判読会	

4 評価（EV）

(1) 形成的評価（フィードバック）

知識（想起、解釈、問題解決）については随時おこなう

態度・習慣、技能についても随時行う。

(2) 総括的評価

PG-EPOC担当指導医の研修担当期間が終了する時点で、PG-EPOC の評価入力を行う。

また、mini-Peer Assessment Tool (mini-PAT)に記載し、プログラム責任者に報告する。